

電波法に関するご注意(つづき)

Bluetooth[®] 機能に関する表示 **TCP-D561BTのみ**

本機背面に貼られているラベルに記載の、Bluetooth 機能に関する表示について説明します。

2.4FH1

「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。

「FH」：変調方式を表します (FHSS: 周波数ホッピング・スペクトラム拡散方式)。

「1」：想定干渉距離を表します (10 m 以下)。

「**---**」：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア局の帯域を回避可能であることを意味します。

Bluetooth 機能による電波干渉についてのご注意

本機の Bluetooth 機能を使用するときは、下記の内容についてご注意ください。

- Bluetooth に使用される 2.4 GHz 帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア局が運用されています。

本機の Bluetooth 機能を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、下記の事項に注意してください。

- 本機の Bluetooth 機能をオンにする前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、2.4 GHz 帯のアマチュア局など (以降「他の無線局」という) が運用されていないことをご確認ください。

- 万一、本機の Bluetooth 機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変更するか、本機の Bluetooth 機能をオフにしたうえで、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご連絡いただき、混信回避の処置についてご相談ください。

Bluetooth[®] ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG,Inc. が所有権を有します。株式会社 JVCケンウッドは使用許諾のもとでこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

FOSS ライセンス

本装置は下記のライセンスに基づくソフトウェアを使用します。なお各ライセンスはJVCケンウッド以外の第三者による規定のため、原文 (英文) を記載します。

*Mds
Copyright (C) 1999, 2000, 2002 Aladdin Enterprises. All rights reserved.
This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty.
In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

- The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
- Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
- This notice may not be removed or altered from any source distribution.

L. Peter Deutsch

ghost@aladdin.com

ご使用の前に

ご使用上のご注意

- 施設の管理などにより、無線機器の使用が禁止されているところでは、本機を使用しないでください。
- 本機を複数で使用する場合、近距離 (約 10 m 以内) で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、電波妨害が発生することがあります。
- 通話のできる距離は地形や環境 (天候や建物などの障害物) によって短くなることがあります。そのようなときは、少し場所を移動して運用してください。
- 通話のできる距離の目安は下記のとおりです。建築物が多い地域や、自動車などの金属物体の周囲では、通話のできる距離が短くなります。
 - ※送信出力 5 W 出力時
 - ・市街地 : 0.5 km ~ 1 km
 - ・見通しのよい場所 : 1 km ~ 4 km
- 下記チャンネルはデータ利用を優先するチャンネルとなります。
 - ・陸上チャンネル：CH26 ~ 30, 71 ~ 82
 - ※詳しくは販売店にお問い合わせください。
- 本製品は抗菌・抗ウイルスのセルフイール[®]を加工済です。セルフイール[®]はニチリンケミカル株式会社の登録商標です。

免責事項について

本機の故障・誤動作などにより、利用の機会 (通話など) を逸したために発生した障害などの付随的損害については、弊社は一切その責任を負いかねます。

ご使用の前に(つづき)

音声圧縮 (符号化) 方式について
米国 DVSI 社の開発した AMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用し、本機は AMBE+2TM に対応しています。
The AMBE+2TM voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #7,970,606, #8,315,860, #8,359,197, and #8,595,002.

防塵 / 防水性能について

本機はオプション接続端子の防水キャップを、隙間のないように正しく取り付けた状態で弊社指定のバッテリーパック (KNB-75LA/ KNB-76L) を装着することにより、IPX8^{*1} の防水性能と、IP6X^{*2} の防塵性能を有しています。

※1 IPX8 とは、常温で水道水、かつ静水の水深 1 m のところに無線機を静かに沈め、2 時間放置後、取り出したときに無線機としての機能を有することを意味します。

※2 IP6X とは、保護度合いを指し、直径 75 μm 以下の塵埃 (じんあい) が入った装置に無線機を 8 時間入れてかくはんさせ、取り出したときに無線機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

- 本製品は設計段階において該当する防塵 / 防水性能の試験をおこないその性能を確認しておりますが、実際のご使用にあたって、すべての状況で防塵 / 防水性能を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 本機の防水性能は真水環境にてのみ性能を保証しております。塩水が掛かる環境でのご使用は無線機の腐食の原因になり、防水性能の保証はできません。
- 水中での使用 (各種操作キーの押下など) は IPX8 の保証対象外となります。
- ナット付きのオプションを使用する場合は、プラグを確実に取り付けからナットで固定してください。また、取り付けの際には、微細なゴミ (微細な繊維、髪の毛、砂など) を挟んでいないか、ご確認ください。
- 石鹸水、洗剤、調味料、ジュース、海水、油など水道水以外のものを掛けたり、浸けたりしないでください。また、高温のお湯に浸けたり、掛けたりしないでください。
- 本機の汚れを落とす際は、水に浸したり、蛇口からの水や湯を直接当てたりしないでください。
- 本機が濡れているときは防水キャップを開けないでください。
- オプションを使用しない場合は防水キャップをしっかりと閉じてください。
- オプション自体の防塵/ 防水性能は各オプション製品により異なります。
- 充電台や AC アダプターは防塵/ 防水仕様ではありません。本機が濡れている状態では使用しないでください。
- 本機に衝撃を与えた場合は、防塵/ 防水性能に影響を与える場合があります。

本機の付属品

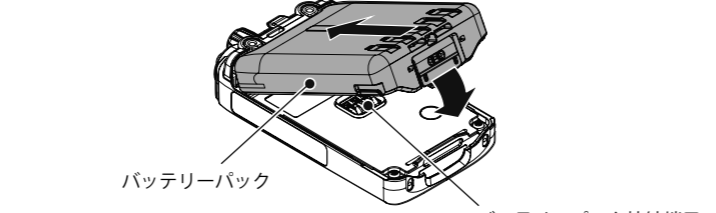
付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

ベルトフック	1
ベルトフック取り付けねじセット	1
アンテナ	1
取扱説明書	1
保証書	1

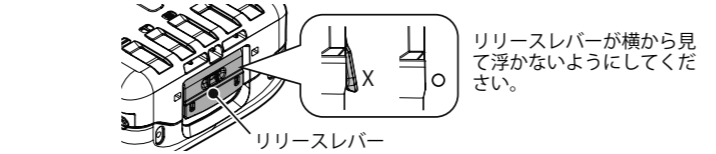
バッテリーパック (別売品) の取り付け / 取り外し

バッテリーパックの取り付け

- バッテリーパック上側の凸部と本体裏側のみぞを合わせ、バッテリーパックを押し込みます



- リリースレバーを本体にロックさせます

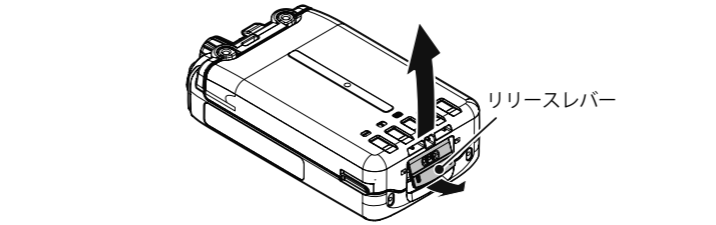


- ◆ バッテリーパックを取り付け / 取り外すときは、無線機本体やバッテリーパックを落とさないように注意してください。

※ バッテリーパック接続端子の清掃には、ウェットティッシュは使用しないでください。ウェットティッシュを使用して清掃すると接触不良の原因となる場合があります。

バッテリーパックの取り外し

- バッテリーパックのリリースレバーを開きながら取り外します




バッテリーパックの特性について

- 充電電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充電したり、無線機を使用したりすると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが常温まで冷めてから使用してください。常温の状態でも使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。
- 長期間保管後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電/放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

使用済みバッテリーパックの取り扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープなどで絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。


	Li-ion 00 充電式	不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、弊社営業担当窓口、または販売店へお持ちください。リサイクルにご協力お願いいたします。
---	-------------------------	---

バッテリーパック使用時間の目安 (Typ.値)

KNB-75LA 使用時	KNB-76L 使用時
約 15 時間 (オン) / 約 13 時間 (オフ)	約 18 時間 (オン) / 約 15 時間 (オフ)

送信出力 5 W で、送信 5 / 受信 5 / 待受 90 の比率にて連続運用した場合の時間です。*() 内は電池セーブの設定

バッテリーパック残量警告

バッテリーパックの容量が減ると、表示部のが点滅し、LED が赤色に点滅し「ブープ」と警告音が鳴ります。早めにバッテリーパックを充電するか交換してください。

: 十分
: 残量あり
: 残量少
: 残量なし (点滅): 残量なし (要充電)

- ◆ バッテリーパックの充電に関しては、取扱説明書 (詳細編) をご覧ください。

ベルトフックの取り付け

ベルトフックと本体のねじ穴を合わせて、付属のねじで取り付けます。

ベルトフックを本体のねじ穴に合わせて、ねじが緩まないようにしっかりと取り付けてください。

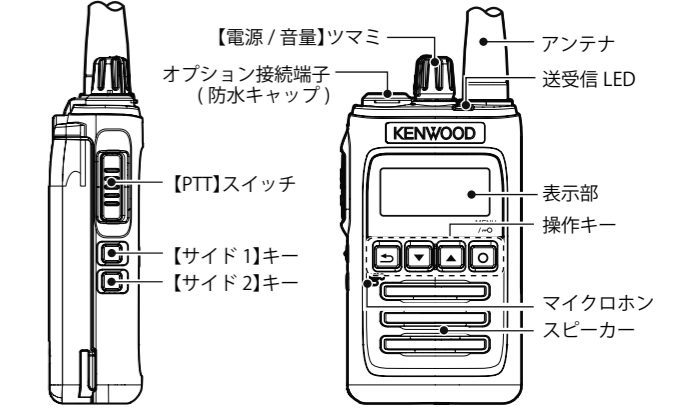

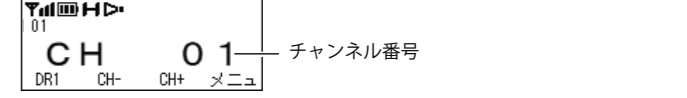




- 付属以外のねじを使用しないでください。
- 時々ねじの緩みがないか確認してください。

アンテナの取り付け

アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクタに時計方向 (右) に固定されるまで回して確実に取り付けます。



基本操作

各部の名称	
 ◆ 各操作キーの動作機能は出荷時の設定です。各操作キーの動作は販売店で設定を変更することができます。	
通話する	
1 【電源/音量】を右(時計方向)に回して電源を入れる 「ピー」と鳴って電源が入ります。電源を切るには【電源 / 音量】を「カチッ」という音がするまで左 (反時計方向) に回します。	
2 操作キーの【▲】/【▼】を押してチャンネル番号を合わせる	
	
相手局の電波を受信すると、送受信 LED が緑色に点灯し、スピーカーから受信音が聞こえます。	
 ◆ 呼出用チャンネル (CH15) は、不特定多数の人との通話を含め、一時的な呼出しチャンネルとなっており、継続的な通話の場合は、別のチャンネル (CH1 ~ 14、16 ~ 82、S1 ~ S15) に切り替えてから通話してください。	
3 【電源/音量】を回す 右 (時計方向) に回すと音量が大きく、左 (反時計方向) に回すと音量が小さくなります。	
4 【PTT】を押す 送信状態になり、送受信 LED が赤色に点灯します。 <ul style="list-style-type: none">他に送信している無線局がないこと (送受信 LED の緑色が消灯していること) を確認してから送信してください。	
5 マイクホンに向かって話す 【PTT】を押し続けながら話します。マイクホンは口元から 3 ~ 4cm 程度離してください。【PTT】を離すと待受状態に戻ります。	
 ◆ 使用できるチャンネルや表示されるチャンネル名は、設定により異なります。設定内容については販売店にお問い合わせください。	
 ◆ 大きな声で話したり、マイクホンとの距離が近すぎたりすると、明瞭度が低下する場合があります。	
仕様	
機種名	TCP-D561/ TCP-D561BT
用途	簡易無線機 登録局
周波数範囲	許可された 351 MHz 帯
チャンネル数	82ch (陸上・海上用) 15ch (上空用受信専用)
電波型式	F1C/ F1D/ F1E/ F1F
変調方式	4 値 FSK (デジタル)
送信出力	5 W/ 1 W
電源電圧	DC7.4 V ± 10%
内蔵スピーカー出力	700 mW (10%歪)
使用温度範囲	-20℃ ~ +60℃
外形寸法 (突起物含まず)	幅: 56 x 高さ: 92 x 奥行: 28.4 mm (KNB-75LA 使用時) 幅: 56 x 高さ: 92 x 奥行: 31.8 mm (KNB-76L 使用時)
質量	約 250 g (KNB-75LA 使用時) 約 279 g (KNB-76L 使用時)
アンテナ、ベルトフック、バッテリー含む	
アンテナ端子	SMA-P
防塵・防水性能	IP54/ IP55/ IP67/ IP68
 ◆ 仕様は予告なく変更することがあります。◆ 本製品は種別コード 3R 3T の無線機です。種別コード 3R の無線機とは互換性があります。同じチャンネル番号であれば通話が可能です。	